

# おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2022年4月号



## 今月の表紙

やまざき だいすけ かずさ  
山崎大輔さん・千紗さん  
ほのか  
帆夏ちゃん(1歳)  
(立根町)

【特集】住民同士が支え、支えられる  
共生社会の構築を目指して  
令和4年度事業計画・予算…………… 2～3  
支えあい見守りステッカー…………… 4  
東日本大震災被災写真展示・返却会…………… 4  
令和4年度大船渡支えあい  
地域福祉活動助成事業…………… 5  
新採用職員紹介…………… 5  
お知らせ…………… 6～7  
輝き人…………… 8

# 住民同士が支え、支えられる 共生社会の構築を目指して

## ～令和4年度事業計画・予算～

### ○令和4年度基本方針

東日本大震災から12年目を迎え、多くの被災世帯が新たな環境で生活の再建を果たしています。一方で、新たな環境での生活は、近隣住民や環境に馴染めず、生活課題を抱えたまま孤立や引きこもり状態となる世帯が見受けられています。また、この状況は被災世帯以外においても同様に見受けられており、さらには新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、外出や相談機会の喪失からその深刻度は日に日に増している現状があります。

このような住民に対し、居宅等に出向き支援を届けること（アウトリーチ）で、早期課題解決に結びつけるとともに、自己解決機能の強化支援、地域助け合い協議会など住民組織等と連携した互助支援システムの構築支援も推進していきます。

また、住民が気軽に立ち寄れる拠点を商業中心地に設けることで、新たな住民交流の機会を創出し、公的サービスだけに頼らない住民同士が支え、支えられる共生社会の構築を進めていきます。

### 1 地域共生社会構築の推進

市内商業中心地での多機能型拠点づくりや支えあいまちづくり事業を中心とした取組を進めます

- (1)社会とのつながりを体感できる居場所づくり
- (2)相談窓口の設置
- (3)フードドライブ、リサイクルシステムの推進
- (4)災害支援金運営事業（被災者の心の復興）
- (5)地域助け合い協議会との協働・連携
- (6)支えあいまちづくり推進会の開催
- (7)小地域ネットワーク活動の普及推進
- (8)地域福祉委員研修会の開催
- (9)地域住民福祉活動の運営支援

### 2 困窮している世帯への生活再建支援の強化

生活困窮状態にある人を対象とした相談窓口を設置し、随時相談に応じ、一時的ではなく本質的な家計の見直しや就労支援など、自立に向けた計画的な取組を進めます

- (1)相談窓口の設置
- (2)生活困窮者の把握
- (3)一般企業への就労支援
- (4)生活福祉資金貸付事業の実施
- (5)たすけあい金庫貸付事業の実施
- (6)歳末たすけあい事業

## 重点取組

### 3 他法人との連携・協働の取組推進

各分野で活動している市内社会福祉法人が、法人運営上の共通課題、地域課題の共有を図り、課題解決や地域公益活動のあり方について検討する場を設けます。

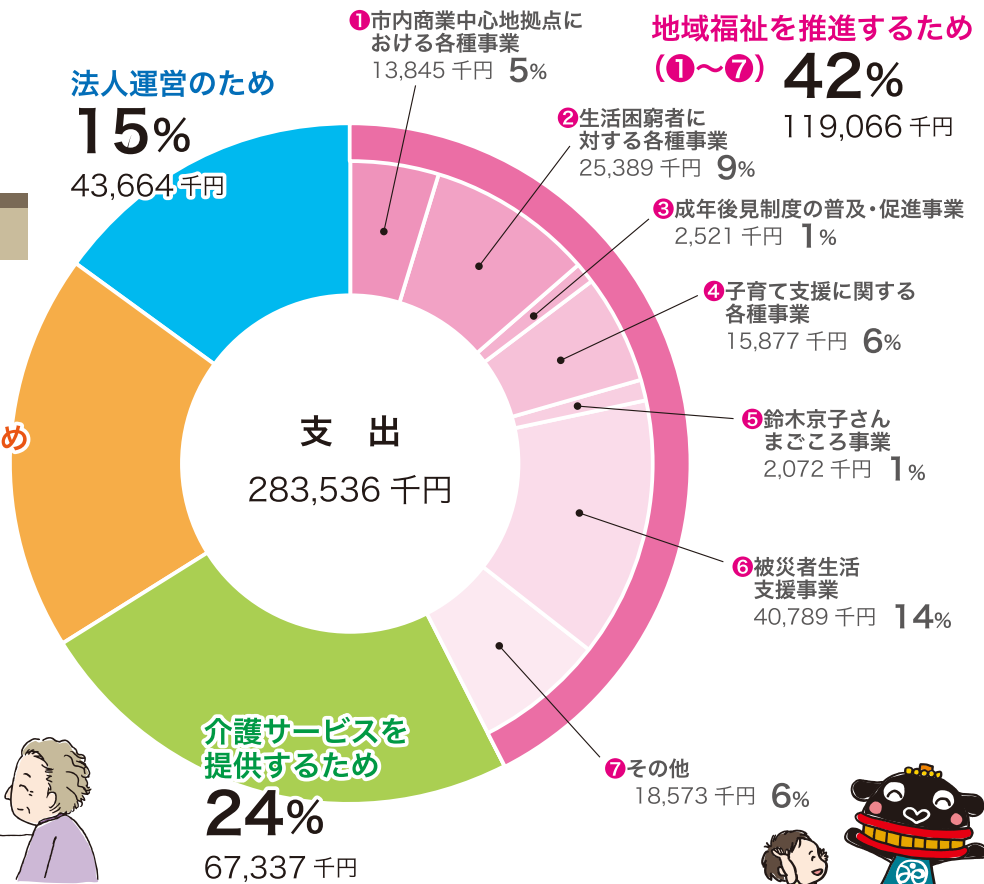
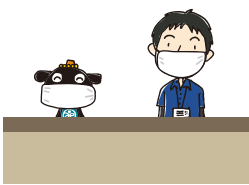
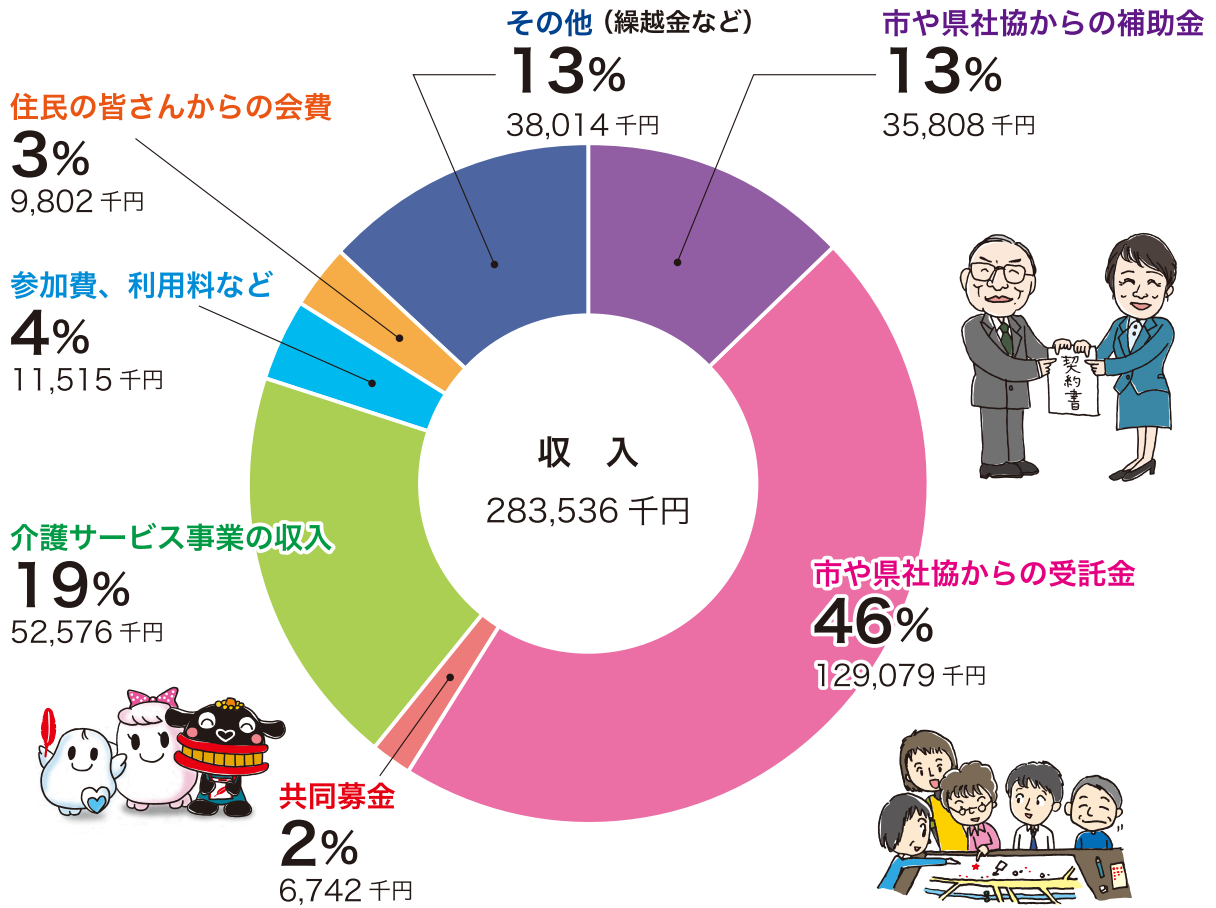
当面は組織化には拘らず、災害発生時の協力体制構築などテーマを絞った内容や法人レベルで取り組まなければならない解決困難な課題について、取組を推進します。

### 4 成年後見制度の利用促進に向けた取組強化

成年後見制度利用の必要性を感じながらも十分な利用促進に繋がっていない現状があることから、大船渡市と連携して制度の理解・普及促進、研修会の開催、利用申請手続きの支援などの取組を進めます。

- (1)大船渡市成年後見支援センター「まるさば」の運営

# 令和4年度予算



## 少しの意識で出来る「支えあい」があります 支えあい見守りステッカー

社会福祉協議会では、「誰もがお互いに支え合い、安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に、住民同士の見守り体制や、地域コミュニティ形成を推進する、おおふなと支えあいまちづくり事業を実施しています。

誰もが安心して生活するためには、行政や福祉関係者のみならず、地域で経済活動を行う企業や各種団体との協働による取り組みが必要となります。



車の内側から貼付できるため耐久性に優れています

昨今は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活に苦しんでいる住民に対して食糧支援の協力を企業や団体の皆様からいただく機会が多くなっています。

本会では、こうした協力体制の機運をさらに高めようと「支えあい見守りステッカー」を作成しました。

訪問や運転時に「気になる人」や「心配な世帯」など、異変を感じた場合、本会に連絡いただくことで、見守りのネットワークを構築することを目的としています。

ステッカーには本会イメージキャラクター「にこにん」と大船渡のマスコットキャラクター「おおふなトン」が描かれており、直径10センチのステッカーを車の後部窓などに貼付して市内を巡回していただけるボランティアを現在募集中です。

企業における社会貢献としても気軽に取り組める活動です。ご協力いただける場合は本会までご連絡ください。

## 被災写真を一枚でも多く持ち主のもとへ 東日本大震災被災写真展示・返却会

社会福祉協議会では、震災で流出した被災写真を持ち主に返却する活動に取り組んでいます。回収された被災写真は約515,000枚にのぼり、そのうち約93%が、持ち主に返却されましたが、37,000枚ほどはまだまだ持ち主がわからない状態となっています。

少しでも多くの人の目に触れ、返却に向けた糸口がつかめるようにと、3月8日(火)から13日



撮影当時のことを懐かしむように写真に目を通していました

(日)まで綾里物産観光センター銀河(綾里駅内)において、「東日本大震災被災写真展示・返却会」を開催しました。

期間中は、41人の地域住民が訪れ、テーマごとに分類された約12,000枚の被災写真一枚一枚に目を通していました。

来場者自身の写真を探すだけではなく、写真に写っている知人の情報提供を受け、今後の返却活動に繋がる機会にもなりました。

現在、被災写真のデータ化作業を進めており、写真現物の展示だけではなく、パソコン等での閲覧もできるため、小スペースでの開催も可能です。

一枚でも多く、持ち主への返却を進めるため、今後も各地域・施設での、展示・返却会を開催する予定です。

今回は、同時にミニサロンを開催し、来場者同士の交流も図ることができました。

様々な形態での開催が可能ですので、お気軽にお声がけください。

## 住民主体の地域づくりを応援するために 令和4年度大船渡支えあい 地域福祉活動助成事業



社会福祉協議会では、市内でサロン活動等の地域活動に取り組んでいる団体を応援するため、活動費として最大5万円を助成する「大船渡支えあい地域福祉活動助成事業」の申請団体を募集します。昨年度は12団体が、サロンを始めるための準備やコロナ禍に配慮したサロン活動を実施するにあたって、この助成金を活用しました。



健笑会では健康づくりを中心としたサロンを開催しました

飲食費も経費対象となっています。助成金を活用し、この機会に地域の皆様と活動を始めてみませんか。

### ○対象団体

- ①大船渡市内で定期的に福祉活動を実施している団体、もしくは新たに実施を考えている団体
- ②他の公的助成を受けていない団体
- ③助成金額  
総事業費の20%以上かつ90%以内で5万円以内

### ○対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

### ○助成対象となる経費

消耗品費、飲食費、通信費、燃料費、賃借料など

### ○その他

申請団体多数の場合、新規申請団体を優先

### ○応募方法

申請書など各種書類に必要事項を記載し申請

### ○応募期間

令和4年4月21日（木）～6月17日（金）

## 令和4年度 新採用職員紹介



社会福祉協議会では、今年度新たに18人の職員を採用しました。今回は、生活福祉課に正規職員として配属された小笠原主事補と細川主事補に今後の抱負を聞きました。（小笠原春枝主事補）  
地域のみなさんの力になれるように頑張ります。お気軽にお声がけください。（細川光矢主事補）  
大船渡市を笑顔と希望にあふれる地域にできるよう「縁の下の力持ち」の精神と意気込みをもって仕事に励みたいのです。



今年度採用となった18人の新規採用職員

### \*新規採用職員

- ・生活福祉課主事補 小笠原春枝
  - ” 細川 光矢
  - ・介護支援専門員 永澤 佳美
  - ・子育て支援専門員 鈴木 雅美
  - ・子育て支援アドバイザー 松沢 由佳
  - ・生活支援相談員 田村 暢子
  - （生活困窮者支援） 鈴木のぞみ
  - （被災者支援） 平野 幸子
  - ” 後藤三枝子
  - ” 滝田 貴子
  - ・子育て支援員 古坐 浩美
  - ” 訪問入浴介護員兼訪問介護員 佐藤 宏明
  - ・プール監視員 三浦 義治
  - ” 伊藤 文彦
  - ・日常生活自立支援事業支援員 小笠原厚子
  - ” 佐々木義久
  - ” 佐々木利恵子
  - ” 熊谷眞美子
- このほか、理事15人、監事2人、評議員25人、職員76人で「安心して暮らせる地域社会」を目指し、事業を推進していきます。今年度もよろしく願います。

\* 岩手県福祉人材センター情報

## 介護のしごとと定期相談会

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。申込み、問い合わせは下記までご連絡ください。

### 介護のしごとと相談日程（5月）

開催日	会場	時間
9日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
10日(火)	おおふなぼーと	午前10時～午後3時
12日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
16日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
19日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
23日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
26日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
30日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時

※10日(火)はお子様と一緒にご相談可能です  
 ※事前予約の人を優先させていただきます  
 ※感染防止対策を講じたうえで開催します

#### 申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本  
 電話 080-8201-0200  
 メール n-sakamoto.shakyo@docomo.ne.jp

\* 就労準備支援事業情報

## フリースペース

就労準備支援事業では、仕事に就いておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

**日時** 毎週火曜日  
 午後1時30分～午後3時30分  
**会場** 大船渡市民体育館ほか  
**内容** 卓球、バドミントン、テニス  
**持ち物** 上靴  
 ※動きやすい服装で参加してください  
**参加費** 無料

\* 大船渡市Y・Sセンター情報

## 利用ポイント制開始しました

令和4年4月1日より、利用ポイント制を開始しました。

これまでプール利用者に発行していたプール手帳は3月31日で廃止し、利用ポイント制に移行させていただきます。

利用ポイント制では、20回の利用ごとに1回無料で施設利用ができます。

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ

令和4年5月

申込・大船渡市社会福祉協議会  
 問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。

\* 子育て支援事業情報

## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

### つどいの広場イベント日程（5月）

開催日	内容	時間
6日(金)	はじめてさんの日	午前10時～ 午後2時50分
12日(木)	ママのための 自力整体教室	午前10時15分～ 午前11時45分
19日(木)	子育て相談の日	午前10時～ 午後2時50分
	ハローワーク 出張お仕事相談会	午前10時～ 午前11時30分
26日(木)	栄養相談会	午前10時15分～ 午前11時45分

※ハローワーク出張お仕事相談会は、直接ハローワーク大船渡にお申込みください  
 電話 0192-27-4165

## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

**日時** 毎週火曜日  
 【午前の部】10時～11時50分  
 【午後の部】1時～2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません

**会場** おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、5月18日(水)（午前10時～午前11時50分）に開催します



## 寄付・寄贈物品受入(3月) (敬称略)

**福祉基金** 及川勤  
**指定寄付** 柴田桂子 (子育て支援)  
**復興支援金** ビートルズのチカラ! 実行委員会  
**共同募金** 一般募金  
(学校募金) 日頃市小学校  
**寄贈物品** 大船渡ライオンズクラブ  
(米、うどんほか)  
(株)エフエム岩手  
(マスク、消毒用ジェル)  
(株)ツルハホールディングス  
(消毒用ジェル)  
「小さな親切」運動岩手県本部  
(車いす1台)



「小さな親切」運動  
岩手県本部より  
2台目の車いすを  
寄贈いただきました

## ご協力ありがとうございました ～社協だよりアンケート～

2月1日から28日まで実施いたしました本紙アンケートに、市民の皆さまから多数のご回答をいただきました。

お寄せいただいたご意見を参考にしながら、より良い紙面づくりへの取組を進めていきます。ご協力ありがとうございました。

## 送迎車の運行を一部変更します

館内消毒作業(施設利用休止時間)に伴い利用が想定されないことから、大船渡市Y・Sセンターとサンリアショッピングセンター間の送迎車運行を一部廃止します。

○廃止 サンリア発 午後3時5分  
Y・S発 午後4時

### \*イベント情報

## 鯉のぼり子どものつどい開催中止

例年5月5日のこどもの日に開催している「鯉のぼり子どものつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することとなりました。

楽しみに待っていてくれた子どもたちには、大変残念なことではありますが、子どもたちを守るための決定ですので、ご理解ください。

なお、当日はイベント開催時と同様に会場の飾りつけと当日配布予定としていたカブトムシ幼虫(ペア)のプレゼントを行います。幼虫プレゼントを希望する人は下記までお申込みください。

なお、数に限りがありますので、希望者多数の場合は申込順になります。

**会場** 岩手県立福祉の里センター交流広場  
立根町字田ノ上30-20

**申込先** 大船渡市社会福祉協議会  
担当 細川  
電話 0192-27-0001

**その他** 幼虫の受け取りの際は、飼育容器をご持参ください。

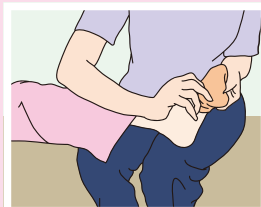
## 介護のワンポイント アドバイス



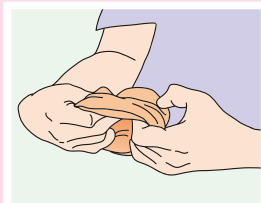
### 「靴下の着脱」

高齢になると、屈んだり足を高く上げることが難しくなってきます。靴下の着脱は毎日のことなので、被介助者だけでなく、介助者にとっても楽なやり方で行いましょう。

- ①太ももの上で介助する  
太ももの上で介助することで、手元での介助が可能になります。  
爪が引っかからないように、靴下はつま先に手練り寄せてからまとめて脱がせましょう。



- ②靴下を履かせる場合は、靴下をある程度柔らかくなるよう揉んでから、靴下の入り口をできるだけ大きく広げ、痛みを感じないようにゆっくり履かせましょう。



## 我が家のペット



我が家の「オレオちゃん」

我が家の食いしん坊  
猪川町 おにに

### 投稿写真の募集を一時中止します

我が家のペットコーナーに、たくさんのご投稿いただきありがとうございます。

現在、毎月1投稿ずつご紹介させていただいておりますが、多くの投稿分を紹介できない状態となっています。そのため、当面の間、投稿写真の募集を中止させていただきます。

# 輝き人

こ ばやし とも か  
小林 友香さん(17歳)

大船渡町在住。岩手県立大船渡高等学校生徒会長。学生団体「peace and voice」代表として戦争のない未来の実現のため尽力する。



## 仲間とともに、戦争のない未来の実現を目指して

### ○団体結成のきっかけ

幼い頃から曾祖母の戦争話をよく聞いていました。「当時の悲観的な状況を忘れてはいけない。後世に語り継いでいって欲しい」という曾祖母の願いを叶えたいという思いがずっとありました。

高校2年の夏、「全国学生リーダー養成塾」に参加しました。参加者のなかには、すでに学生団体を立ち上げている人や、起業している人達がいました。

その姿に触発され、「戦争経験者の声を高校生が語り継ぎ、未来を平和にする」ことを目的として、団体結成に向け動き始めました。

校内に自作のポスターを掲示したり、リーダー養成塾の仲間へ声をかけ、昨年9月12日に学生団体「peace and voice」を設立し、現在は県内外の学生13人で活動をしています。

### ○戦争経験者の声

昨年10月に団体として初めて赤崎町に住む戦争経験者から当時のことを伺いました。

「戦時中は食べ物がなく、学校の帰り道、木の実を食べ、飢えを凌いだ。学校から配布された薬を服用したら視界が真っ黄色になり、一生このままなのではないかと恐怖を覚えた」、「艦砲射撃を目撃したり、避難した防空壕の中でも空襲被害にあつた時の凄惨な光景は、思い出したくないが、忘れることもできない」と今でも鮮明に覚えていることを話してくれました。

### ○台湾から見た日本

11月には台湾人とオンラインで対談しました。日本が50年以上植民地化していたことを台湾の人々は、今どう感じているのかを伺うと、「若年層は日本を良く思っているが、植民地化を経験している人達は、家族全員を日本人

に殺された経験などから、日本のことを良く思っていない」と話していました。

この交流を通して、教科書では知ることのできなかつた現実には大きな衝撃を受けました。

### ○戦争のない未来に向けて

「未来に戦争を起こさない」という思いで始めた団体ですが、結成から5か月でロシアとウクライナの戦争が起きてしまいました。被害を受けている人々をテレビで見ると歯がゆい思いになります。

「どちらが悪いなどはない。戦争は良くないということのみならず、戦争反対の行動を起こしている日本人を含め、世界中の人々が誇らしいと感じます。

戦争は起こってしまつたら止めるのは難しい。だからこそ戦争を起こさない未来が必要です。

何か争いごとが起きた時、戦争ではなく、対話や国際ルールによる解決方法もあります。戦争の悲惨さだけでなく、平和的な解決方法があることを私たちの活動を通して伝えていきたいと思っています。